



幼稚園だより

令和5年度
6月号

夢中になって遊ぶ幼児の育成

令和5年5月31日
文京区立湯島幼稚園
副園長 澤田 亮

暑い日が続いたり雨の日が続いたり、寒暖差の大きい日が続きますね。子どもたちは室内でごっこ遊びや製作遊びをしながら、雨が上がった時には園庭に出て、元気に遊んでいます。

さて、私たち教員は研修を受けたり研究を深めたりする機会があり、1か月に一度、“文京区教育研究会”に出席しています。（水曜の午前保育のご協力ありがとうございます）区内の公立幼稚園の教員60名以上が集まり、テーマを決めて研究を進めています。今年度は「夢中になって遊ぶ幼児の育成」をテーマに、「体を動かして遊ぶ」と「作って遊ぶ」の2つの部会に分かれて研究をしています。

テーマの中にある「夢中になって遊ぶ」ということは、どういうことでしょうか。国語辞典によると「物事に熱中して我を忘れること」とあります。何かに熱中、没頭、集中している様子が思い浮かびます。幼稚園では、たくさんの夢中になって遊ぶ様子が見られます。

ある日、園庭で年長組の子どもたちが靴鬼をしていました。四角い陣地の中で鬼から逃げるのですが、捕まったら靴を取られて真ん中に置かれます。他の人たちはどうにか鬼をかいくぐって靴を取り返し、友達に渡します。鬼に捕まらないように走る子、低く身構えて友達の靴を狙う子、1人でも多く捕まえようと動き回る鬼の子など、本当に集中して夢中になって遊んでいます。「もう一回やろう！」「次は私が鬼ね！」と繰り返し楽しんでいます。

一方保育室では、製作遊びやごっこ遊びを楽しんでいます。製作コーナーでは空き箱と空き箱をつなげようと手元をじっと見て慎重にセロハンテープを貼っています。また、動物のお面に一心不乱にクレヨンで色を塗って、「できた！」と頭につける子もいました。おうちごっこで料理をしたり、お店ごっこで汗をかきながら物を売ったり、本当にたくさんの夢中になって遊ぶ姿が見られています。

私たち教師は、教材研究したりお互いに意見を出し合ったりして学び、夢中に遊んだ後の、「楽しかったね！」「見て！」「もう一回やろう！」という、子どもたちの満足感や充実感、達成感のために、頑張っていきたいと思えます。



「車が発射しまーす♪」

真剣な姿はまるで職人の
ようです☆



靴を取ろうとする子、それを捕
まえる子、みんな真剣に楽しんで
いますね！

大人になるとなかなか夢中になって遊ぶことも少ないなと思っています。ぜひ、大人も夢中になって遊ぶ姿を子どもたちに見せていきたいですね！

